

NPO 法人大阪障害者センター・きょうされん大阪支部

合同研修事業

# **福祉施設職員のための 「福祉の専門性」基礎講座 2017年度募集要項**

主催；NPO法人大阪障害者センター

きょうされん大阪支部

障害者（児）を守る全大阪連絡協議会

事務局；〒558-0011 大阪市住吉区苅田5-1-22

電話 06-6697-9005 FAX 06-6697-9059

## ご案内

様々な制度改革が進められる中、障害福祉の現場においても、福祉職の専門性をめぐっても、大きな混乱が発生しています。

現在日本の社会福祉や現場を巡る状況は極めて深刻で、結局福祉は「介護とお世話」や「福祉の生産性」が強調される中、一層の市場化の促進の中、社会福祉の専門性からソーシャルワークという言葉が消え、合わせて社会問題としての障害者問題への視点もかけ、「運動」そのものが曖昧にされようとしています。

規格化された支援のみが強調され、新たなニーズや制度上の矛盾などにも目が届かない状況の中で、まさに社会保障・福祉が大きく変質されようとしています。

こうした状況下、若者たちにも「戦争法」や「原発問題」等大きな声を上げる動きが始まっています。こうした新しい息吹をどのように広げていくのか「社会運動」の持つ意味が改めて問われるものとなっています。

そんな中で、障害者福祉の発展は歴史的に当事者・家族とともに、その支援者として教育労働者や福祉労働者が一緒になって制度をつくりだす大きな役割を果たしてきました。まさに、障害者制度の創設は、実態からスタートし、その実践が制度をつくりだすという社会とのダイナミクスの中で発展してきた歴史でもありました。

では今、現場で何が起きているのか？ なぜ、社会問題としての障害者の抱える問題は何なのか？ 実態や歴史に学びながら、福祉現場で働く意味をもう一度考えて見ませんか？

社会運動の意義と専門職としての役割について一緒に考えるための講座を企画しました。「運動」ってわからない、なぜそんなことが必要なのかと悩んでいる人も一緒に考えあえる機会を作ってみまして。

福祉って何か、その専門性とは何か、ぜひ一緒に考えてみませんか！

対象者；現場主任。グループリーダー

期間；半年間 月1回程度の研修及び佛教大学と共同してグループワークの時間設定を行ないます。

受講料；加盟施設職員 無料（大阪障害者センター未加盟施設職員 5万円）

会場；大阪障害者センター 大会議室

定員；15名（基本的には法人・施設からの推薦者を優先します。少数精鋭方式のため、定員になり次第募集を締め切ります。）

※全講義修了者には、修了証書を発行します。

※当該研修の学びを、ぜひ積極的に職場に持ち帰り、職場で活かせるよう、送り出し職場でのご配慮をお願いいたします。

## 研修内容及びスケジュール

ソーシャルワークとは何か、社会とのかかわりの中で福祉職の役割を考える	木全和巳氏(日本福祉大)	6月14日(水)PM1:00~	ソーシャルワークを考える
障害者・家族の現状を知る	ト部秀二氏(大阪障害児者を守る会)	7月20日(木)PM1:00~	障害者制度を変えてきたものは何か
障害者施策の歴史と現状・これからの課題	塩見洋介氏(障連協)	8月24日(木)PM1:00~	福祉労働者の原点は何か
障害福祉現場で働く人たちの「働き甲斐」とは～福祉制度の転換の中でも大切にしたいこと～	西沢富子氏(大阪障害者センター合同カンファレンスチーム)	9月14日(木)PM1:00~	制度をつくりだす社会運動とは
社会運動が果たしてきた役割とこれからの課題	雨田信幸氏(きょうされん大阪支部)	10月26日(木)PM1:00~	

## 会場案内図

公共交通機関をご利用の方；地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、徒歩約10分。  
 大阪市営バス「苺田小学校前」下車、徒歩約2分。



2017年度「福祉の専門性」礎講座申込書

推薦者氏名		施設名	
連絡先			
電話		FAX	
受講者氏名		施設種別	
現在の職歴		職歴	
受講動機			